

各 位

上場会社名 日本精密株式会社
 代表者 代表取締役社長 岡林 博
 (コード番号 7771)
 問合せ先責任者 執行役員 田崎 政己
 (TEL 048-225-5311)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,461	46	25	25	1.65
今回発表予想(B)	2,431	5	36	38	2.53
増減額(B-A)	29	52	61	63	
増減率(%)	1.2				
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	1,990	83	102	97	7.78

平成23年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,810	2	4	5	0.37
今回発表予想(B)	1,753	26	34	9	0.60
増減額(B-A)	56	28	39	14	
増減率(%)	3.1				
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	1,112	79	63	83	6.60

修正の理由

(1)平成23年3月期第二四半期(累計)連結業績予想の修正理由

売上高は、2,431百万円となり前回予想を29百万円下回る見込みです。その主な要因は、時計バンド事業では、欧州高級時計メーカーへは依然として消費低迷の影響を受け221百万円となり63百万円下回る見込みです。国内大手時計メーカーへは同社の業容拡大に伴う受注増加があり、1,234百万円となり152百万円上回る見込みです。メガネ事業では、本社メガネ部門は185百万円となり164百万円下回る見込みです。これは受注の急拡大に生産拠点であるベトナムでの人手不足解消が追い付かず、納品遅延したことによるものです。子会社である株式会社村井のメガネ部門は621百万円となり69百万円上回る見込みです。これは国内大手チェーン店向けの的確な販売政策の実行をしたことによります。その他事業では168百万円となり23百万円下回る見込みです。これはベトナムでの生産工数不足により納品遅延したことによるものです。

営業利益は、固定費削減による販売費及び一般管理費の減少42百万円の寄与がありましたが、売上高減少及びアジア地域における人件費高騰による原価増等により売上総利益の減少95百万円があり、前回予想を52百万円下回る見込みです。

経常利益は、営業利益の減少52百万円があり、為替差損の発生15百万円等により前回予想を61百万円下回る見込みです。

四半期純利益は、経常利益の減少61百万円があり、前回予想を63百万円下回り、38百万円の四半期純損失となる見込

みです。

なお、通期の業績予想については現段階では変更ありません。

(2)平成23年3月期第二四半期(累計)個別業績予想の修正理由

売上高は、1,753百万円となり前回予想を56百万円下回る見込みです。その主な要因は、時計バンド事業では、欧州高級時計メーカーへは依然として消費低迷の影響を受け225百万円となり61百万円下回る見込みです。国内大手時計メーカーへは同社の業容拡大に伴い香港支店での受注増加が寄与し951百万円となり184百万円上回る見込みです。メガネ事業では、本社メガネ部門は506百万円となり176百万円下回る見込みです。これは受注の急拡大に生産拠点であるベトナムでの人手不足解消が追い付かず、納品遅延したことによるものです。その他事業では、ほぼ予想通りの70百万円となりますが、4百万円下回る見込みです。

営業利益は、固定費削減による販売費及び一般管理費の減少8百万円の寄与がありましたが、売上高減少による売上総利益の減少37百万円があり、前回予想を28百万円下回る見込みです。

経常利益は、営業利益の減少28百万円があり、為替差損の発生16百万円により前回予想を39百万円下回る見込みです。

四半期純利益は、経常利益の減少39百万円があり、子会社の予想利益の増加による同子会社に対する貸倒引当金戻入益27百万円の発生により前回予想を14百万円下回り、9百万円の四半期純損失となる見込みです。

なお、通期の業績予想については現段階では変更ありません。

以上